板橋民商だより

第６１期
第３１号

２０２１年
５月１０日
（月曜日）

板橋民主商工会
板橋区双葉町36-6-3F
TEL03-3963-8421
FAX03-3963-9329

緊急事態宣言再び　幅広い業種に休業の協力依頼

東京都の協力金

飲食関連｜酒類・カラオケ提供施設は休業要請

２３日、新型コロナウイルスの緊急事態宣言を東京、大阪、京都、兵庫の４都府県に発令。期間は４月２５日から５月１１日までの１７日間。酒類やカラオケ提供店などに休業要請が出されました。ただし、酒類・カラオケ設備の提供をやめることで２０時までの時短営業が可能。協力金は変わらず、一日４万円です。

飲食関連以外｜幅広い業種に休業要請・休業の協力依頼

今回は飲食関連業以外にも、面積に応じて休業要請や休業の協力依頼が出されています。全面的に協力した店舗には１店舗あたり３４万円（または３０万円）が支給されます。虹色ステッカーの登録、掲示が必要となります。

休業要請・休業の協力依頼の施設（一部抜粋）

カラオケ提供店、酒類提供する飲食店、マージャン店、ペットショップ、エステサロン、整体院、フォトスタジオ、スポーツクラブなど。

医療施設や生活必需物資販売施設などは休業要請外となっています。

板橋区の協力金

飲食店向け感染拡大防止協力金 対象拡大

板橋区が独自の事業として取り組む感染拡大協力金の対象が拡大され、申請期限も６月３０日までに延長されました。支給対象は下記の期間のいずれかに東京都の時短営業に協力し、協力金を受け取っている飲食店で、従業員５人以下は１０万円、６人以上は２０万円支給されます。支給は一事業者につき一回のみです。

①2020年11月28日～2020年12月17日実施分
②2020年12月18日～2021年 1月 7日実施分
③2021年 1月 8日～2021年 2月 7日実施分　※新たに追加
④2021年 2月 8日～2021年 3月 7日実施分　※新たに追加

◀東京都　飲食店見回り

都は「徹底点検ＴＯＫＹＯサポートプロジェクト」として、対象区域内の１０万を超える店舗に対し、今月から６月まで都職員がチームを編成し感染対策の点検を行う。２０のチェックポイントを設定し、手指消毒や換気、利用客への声かけなどが適切に行われているかを点検。点検が済んだ店舗に対しては「感染防止徹底点検済証」を交付。民商の会員からも「腕章をつけた都の職員が見回りにきた」との報告が数件届いています。

◀一時支援金　あなたも支給の可能性アリ

一時支援金の申請相談会がスタートしています。一時支援金は、昨年または一昨年の１～３月と本年１～３月の任意の月を比較して５０％以上売り上げが減少している場合、幅広い業種で支給の可能性があります（都の協力金対象の飲食店除く）。５０％以上売り上げ減少月があればご相談ください。申請の締切りは５月３１日までです。申請希望の方は相談会に予約を。資料をそろえていただきます。

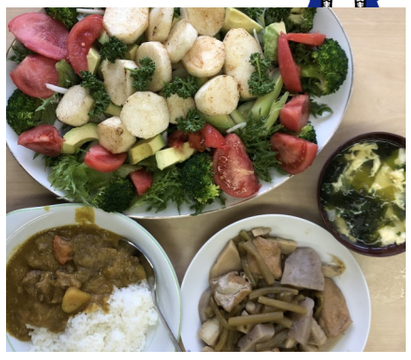
◀板橋区が一時支援金に上乗せ支給決定

板橋区は、国の一時支援金を受け取った事業者に対し、追加の支援金を支給を決定。支給額は個人１０万円、法人２０万円で、４月２６日から６月３０日まで受付けます。申請には国の一時支援金支給決定通知書や確定申告書などが必要となります。詳しくは民商へお問合せください。

◀インボイス制度実施中止を求める署名に協力を

新型コロナの収束や景気回復が見通せない中で、２０２３年からインボイス制度の登録申請が始まろうとしています。同制度は業者間の取引慣行を壊し、免税点制度を実質的に廃止するものです。裏面が署名になっています。１筆・２筆でも結構ですので、署名を民商へ届けて下さい。

今週の水曜メシ



【4/21の水曜メシ】
◎牛肉入りダルカレー
◎山芋ステーキのせサラダ
◎筍とフキ、厚揚げの煮物
◎たまごとワカメのスープ

法律相談会　①５月１１日（火）１８時～　民商事務所　※要予約

記帳書込会　①５月９日（日）１３時３０分～　民商事務所　※要予約

衆議院議長　殿／参議院議長 殿

消費税インボイス制度の実施中止を求める請願

【請願趣旨】

新型コロナ危機の収束や景気回復が見通せない中で、2023 年 10 月からのインボイス制度（適格請求書等保存方式）実施に向け、今年 10 月 1 日からインボイス発行事業者の登録申請が始まろうとしています。

免税業者を取引から排除しかねないインボイス制度は、事業者間の取引慣行を壊し、免税点制度を実質的に廃止するものです。仕入れや経費に含まれる消費税を価格や単価に転嫁できなければ、ベンチャーもフリーランスも育ちません。

コロナ禍で時短・自粛営業を余儀なくされ、地域経済が疲弊する下で、中小企業・自営業者の経営危機が深まっており、インボイス制度に対応できる状況ではありません。多くの中小企業団体や税理士団体も「凍結」「延期」「見直し」を表明し、現状での実施に踏み切ることに懸念の声を上げています。

新型コロナ危機を克服し、新しく構築すべき経済・社会においても、地域に根ざして活動する中小業者の存在が不可欠です。「税制で商売をつぶすな」の願いを込め、以下の事項を請願します。

【請願事項】

一、消費税のインボイス制度は実施を中止すること。

氏　　名	住　　所　（〇〇県△△市□□町 1-2 ←番地までお書きください）

全国商工団体連合会（取扱団体：板橋民主商工会）

今後の主な日程

05/12（水）拡大常任理事会　18：30～　民商事務所
05/15（土）大谷口・大山支部役員会　19：00～　仲町地域センター
05/17（月）前野・上常・中若支部役員会　19：00～　民商事務所
05/20（木）厚生文化部会　18：00～　民商事務所
　　板橋・中板・坂上支部役員会　19：00～　民商事務所

新型コロナに関する申請・相談会の日程

5/6㊍	5/7㊎	5/10㊊	5/11㊋	5/12㊌	5/13㊍
○	○	○	○	○	

ちょこっといい話と困った話

武田　仁（板橋民商サポーター）

田中邦衛さん！

個性派俳優の田中邦衛さんが3月に亡くなり、テレビは「北の国から」での黒板五郎役の場面を繰り返し放映していました。朴訥とした語り口で何か頼りない存在ではあるけれど、すごく親しみのある邦衛さんの演技を思いだします。原作・脚本の倉本聰さんや純役の吉岡秀隆さん、蛍役の中嶋明子さんらが悲しみの談話を寄せていました。邦衛さんは映画では若大将シリーズでの加山雄三さんとの共演や菅原文太さんとの仁義なき戦いシリーズ等もありますが、私の一番好きな作品は、1981年の「北の国から」より15年も前の1966年にフジテレビで放映された「若者たち」です。

5人兄弟の長男役が邦衛さん。橋本功、佐藤オリエ、山本圭、松山省二らの5人兄弟が友情や恋愛等の様々な暮らしの問題に直面しながら時には激しく意見を交わしながらたくましく生きてゆくドラマでした。当時、高校生だった私は週に一度の金曜日の夜が待ち遠しくてたまりませんでした。このテレビドラマは、あまりにも社会批判が激しいと言うことで途中で放映中止になったはずです。同名主題歌のザ・ブロード・サイド・フォーの歌も良かったですね。「君の行く道は／果てしなく遠い／だのになぜ／歯を食いしばり／君は行くのか／そんなにしてまで」

長男役の邦衛さんが良かった。弟妹たちのために一生懸命働く姿が。そして、現実の厳しさを、甘っちょろい弟妹たちにけんか腰で説得しようとする姿が。若かりし、山本圭が盛んに邦衛さんにぶつかってゆく場面も懐かしい。